

アトキンス物理化学

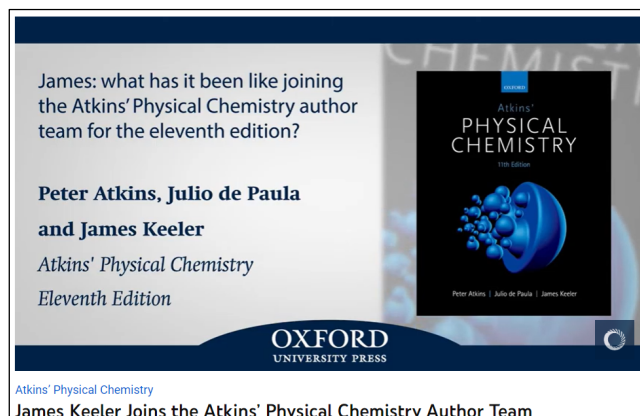
— ④ FIFAワールドカップと同期して改訂を重ねる世界的ベストセラー

吉田英生 (S53/1978卒)

日本決勝トーナメント進出！(12月2日午前5:53) この感動的なカタールでのFIFAワールドカップの機会に、ワールドカップと同期して改訂を重ねてきた名著(教科書)を、紹介したいと思います。

書名“*Atkins' Physical Chemistry*”の一部にもなっているピーター・アトキンス

(1940-)は、オックスフォード大学の化学教授で、現在は著者を二人追加して第12版に至っています。第8版の時点(2007)で、拙書評を <http://www.wattandedison.com/Atkins.pdf> に寄せましたので、内容についてはそちらを参照いただき、本稿では邦訳書とともに、これまでの経緯と最新の情報を以下にまとめて示します。



Atkins' Physical Chemistry

James Keeler Joins the Atkins' Physical Chemistry Author Team

<https://www.youtube.com/watch?v=iZyKSwp5WWs>

年	FIFAワールドカップ	Atkins' Physical Chemistry Oxford University Pressの版	東京化学同人社 からの邦訳書
1978	11 アルゼンチン	1	1979.4 (1年遅れ)
1982	12 スペイン	2	1984.12 (2年遅れ)
1986	13 メキシコ	3	
1990	14 イタリア	4	1993.2 (3年遅れ)
1994	15 アメリカ	5	
1998	16 フランス	6	2001.1 (3年遅れ)
2002	17 日本・韓国	7 著者追加 Julio de Paula	
2006	18 ドイツ	8	2009.2 (3年遅れ)
2010	19 南アフリカ共和国	9	
2014	20 ブラジル	10	2017.3 (3年遅れ)
2018	21 ロシア	11 ¹ 著者追加 James Keeler	
2022	22 カタール	12	

余談ながら、筆者がM2だった1979年春に初版の邦訳書が出たこともあり、以降43年間の自分の研究人生とも重なり、本書には特別な思いがあります。なお、アトキンスは一般読者も対象とする物理化学関係の興味深い啓蒙書を数多く執筆していて、その多くが邦訳でも読めることを付記します。

¹ 第11版の発行は <https://www.oupjapan.co.jp/ja/products/detail/20766> によると前年末の2017年12月。